



## 頑張った記憶が自分を支える力になる

校長 菊地 恵美子

新型コロナウイルス感染拡大第7波の中ではありますが、感染防止に取り組みながら、有意義な夏休みを過ごすことができたのなら幸いに思います。

さて、夏休みと言えば、甲子園全国高校野球選手権大会。今年も様々なドラマが繰り広げられました。始球を務めたのは、16年前の夏、決勝で田中将大投手（現・楽天）を擁する駒大苫小牧と延長15回の熱戦の末引き分け、再試合で全国制覇を成し遂げた早稲田実業の投手斎藤佑樹さん（元・日本ハム）でした。コロナ禍に苦しみながら頑張ってきた球児たちに、敬意を込めて投球したそうです。

そんな斎藤さんが、この夏、頑張っている人に向けて思いをつづった手紙（日本郵便株式会社「夏のお手紙キャンペーン」より）が公開されました。斎藤さんは早稲田大学で活躍後、ドラフト1位で日本ハムに入団、けがに悩まされながらも11年活躍し、現役引退しました。栄光も挫折も味わったからこそその言葉は、ぐっと胸に迫るものがありました。ここに引用します。

この夏にすべてをかける君へ

暑い日が続きますが、体調など崩していないでしょうか。体格も投げかたも似ている、そして夢が叶うことを1ミリも疑っていない君と出会ったときから、僕はずっと、16年前の自分を重ねていました。

その夢は、きっと叶うよ。とは、僕は言いません。

勝負はわからないから。おなじ夢を持った人たちのぶつかりあいだから。

ただ、今のまっすぐな君のまま、どうかこの夏のマウンドに立ち続けてください。これから先、グラウンドでもグラウンド以外でも、君をいろいろな出来事が待ち受けています。僕のように、不安だらけの時期を過ごし、挫折を味わうこともあるかもしれません。それでもなんとか前を向くために必要なもの。それは、記憶だと思います。過去の栄光、だなんて言われることもあるけれど。

最後まで闘い抜いた記憶は、未来を生きる大きな力になります。

勝っても負けても、最後まで闘い抜いた経験は、いつか自分の支えになる。コロナ禍で制限されながらの学校生活ですが、子供たちには、目標に向かって努力し続けることの大切さを伝えていきたいと思えます。そして何より、様々な経験をさせていければと思っています。2学期は、6年生の陸上記録会や修学旅行、1～5年生の校外学習、全校児童による持久走大会、そして、PTAの皆さんのご協力による「なかいち祭」も開催予定です。頑張った経験がその後の生活の糧になるよう、職員一同努めてまいりますので、2学期も、保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 9月の行事予定

期日	予 定
5 月	教育実習～9月30日（3年3組）
7 水	SC来校
8 木	金曜日課
9 金	木曜日課
20 火	校外学習（3年1組）
22 木	校外学習（3年2組）
26 月	校外学習（3年3組）
28 水	SC来校、6年生4時間授業
29 木	修学旅行（6年）～30日 人権教室（4年）

## 行事予定の変更

- 11月 4日（金）なかいち祭
- 17日（木）持久走大会
- 18日（金）持久走大会予備日
- 29日（火）授業参観

